

越谷市役所庁舎に関する市民アンケート 中間集計結果

平成26年2月

越谷市本庁舎整備審議会

越谷市役所庁舎に関する市民アンケート ご協力をお願い

昭和44年（1969年）の建設以来、44年以上が経過する越谷市役所本庁舎の耐震性能は、平成13年度に行った耐震診断の結果、大規模地震に対しては倒壊または崩壊する危険性が高いとされています。

このため、市では現在「越谷市本庁舎整備審議会」を設置し、本庁舎の整備に関しいろいろな事項を様々な視点から協議しております。

そこで、市民の皆様の市庁舎の課題への関心や、庁舎に必要な機能等に対するご意見をお聞きし、庁舎整備に関する今後の計画づくりに役立つため、アンケート調査を行うことといたしました。

調査方法といたしましては、越谷市民の中から3,000人の方を無作為に抽出し、本アンケートを送付させていただきました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査票は無記名方式です。ご回答いただいた内容は全て統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることは一切ありません。

平成26年1月 越谷市本庁舎整備審議会

■記入上のご注意

1. ご回答は、お手元に届いた宛名の方が記入されますようお願いいたします。
2. ご記入は、鉛筆又はボールペンでお願いします。
3. お答えは、最初から1問ずつ順を追ってお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
5. お答えのなかで「その他」を選んだ際は、その内容を具体的にご記入ください。

（アンケートのご返送について）

ご回答いただきましたら、本アンケートを同封の返信用封筒に入れ、

1月20日（月）までに、郵便ポストにそのままご投函くださいますようお願い申し上げます。

【アンケートについてのお問い合わせ先：越谷市本庁舎整備審議会 事務局】

越谷市役所 総務部総務管理課 庁舎管理係〔担当：齊藤（秀）・三ツ木〕

電話 048-963-9134（直通） FAX 048-965-6433

E-mail 10033400@city.koshigaya.saitama.jp

質問4		あなたは、現在の市本庁舎にどのような課題があると思いますか。 下の ア から ス の項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ 1つ選んで、数字を ○ で囲んでください。				
項 目	そ う 思 う	と そ う 思 う	ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う	そ う は 思 わ な い	わ か ら な い
ア. 窓ロスペースなどのゆとりが少ないため、個人のプライバシーが十分確保されていない。	1	2	3	4	5	
イ. 災害対策の拠点として、大地震や火災などに耐えられる建物となっていない。	1	2	3	4	5	
ウ. 庁舎の窓口が分散していて、利用しにくい。	1	2	3	4	5	
エ. 高齢者にとって利用しやすい施設となっていない。	1	2	3	4	5	
オ. 外国人にとって利用しやすい施設となっていない。	1	2	3	4	5	
カ. 駐車場、駐輪場などが十分ではない。	1	2	3	4	5	
キ. 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていない。	1	2	3	4	5	
ク. 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ない。	1	2	3	4	5	
ケ. 市のシンボルとなるようなデザインではない。	1	2	3	4	5	
コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない。	1	2	3	4	5	
サ. 建物や広場が周囲の景観と調和していない。	1	2	3	4	5	
シ. 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していない。	1	2	3	4	5	
その他の課題 （右の欄にご記入ください）	[]					

質問5	あなたはどのような市庁舎が理想だと思いますか。あなたの思い描く市庁舎像に近い考えを次の中から選んで、数字を ○ で囲んでください。
<p>回答欄 (3つまで選択してください)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべての市民に開かれた庁舎 2. 機能性・効率性の高い庁舎 3. 市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎 4. 防災拠点機能を備えた庁舎 5. 越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎 6. 環境にやさしい庁舎 7. 越谷らしさが感じられる庁舎 8. その他 []

質問6	市庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重要視することは何ですか。次の中から選んで、数字を ○ で囲んでください。
<p>回答欄 (3つまで選択してください)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユニバーサルデザインが施されるとともに国際化にも対応した多様化の拠点としての役割を果たすこと 2. 市としてのシンボルとなり、市外の人に誇れる場としての役割を果たすこと 3. 国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割を果たすこと 4. 地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること 5. さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと 6. 市民の健康づくりの拠点となり、健康関連のイベント会場となること 7. 中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性（歩き回ること）を刺激するイベントの会場となること 8. 災害時の情報収集、情報発信の拠点となること 9. その他 []

1. 調査の概要

①調査の背景と目的

越谷市役所本庁舎は、昭和 44 年の建設以来、44 年が経過しているため老朽化が進んでいます。また、平成 13 年度に行った耐震診断の結果、大規模地震に対しては倒壊または崩壊する危険性が高いとされています。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時は応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設であることから、市では、「越谷市本庁舎整備審議会」を設置し、本庁舎の整備に関し必要な事項について検討を進めています。このたび同審議会では、市民の方々の市庁舎の利用実態及び市民の望む市庁舎の姿を検討するための基礎資料とするため、本アンケート調査を行いました。

②調査実施主体

越谷市本庁舎整備審議会

③調査対象

市内に在住の 18 歳以上の 3,000 人の市民を無作為に抽出

④調査方法

調査対象者に郵送で配布し、郵送で回収

⑤調査期間

平成 26 年 1 月 10 日（金）～平成 26 年 1 月 20 日（月）

⑥アンケート標本数 中間集計 1 月 31 日現在の集計

1,396 票（回収率 46.53%）

⑦調査項目

基本質問 回答者の属性（性別、年齢、居住地域、職業）

質問 1 市庁舎への来訪頻度と平均滞在時間

質問 2 市庁舎への来訪目的

質問 3 市庁舎への利用交通手段

質問 4 現在の市庁舎の課題について

質問 5 理想とする市庁舎像

質問 6 市庁舎の果たす役割について重要視すること

質問 7 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

自由回答（庁舎整備に関する意見・提案）

2. 集計解析結果

基本質問（回答者の属性）

○回答者の性別は、「女性」が 55.1%、「男性」が 42.4%で、女性の回答者が多くなっています。

○年齢は、「10 才代」が 1.2%（回答者数 17 人）で最も少なく、「20 才代」が 7.6%と、20 才代以下の回答が少なくなっています。一方、回答者の割合が多いのは「60 才代」が 23.1%と最も多く、次いで「70 才以上」の 20.8%、「40 才代」の 18.4%などです。

選 択 肢	回答数	構成比
男性	591	42.3%
女性	769	55.1%
無回答	36	2.6%
合計	1396	100.0%

表 1 回答者の性別

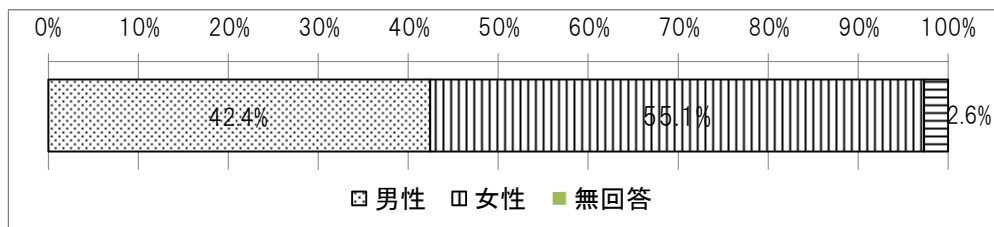


図 1 回答者の性別

選 択 肢	回答数	構成比
10才代	17	1.2%
20才代	106	7.6%
30才代	197	14.1%
40才代	257	18.4%
50才代	186	13.3%
60才代	323	23.1%
70才以上	291	20.8%
無回答	19	1.4%
合計	1396	100.0%

表 2 回答者の年齢

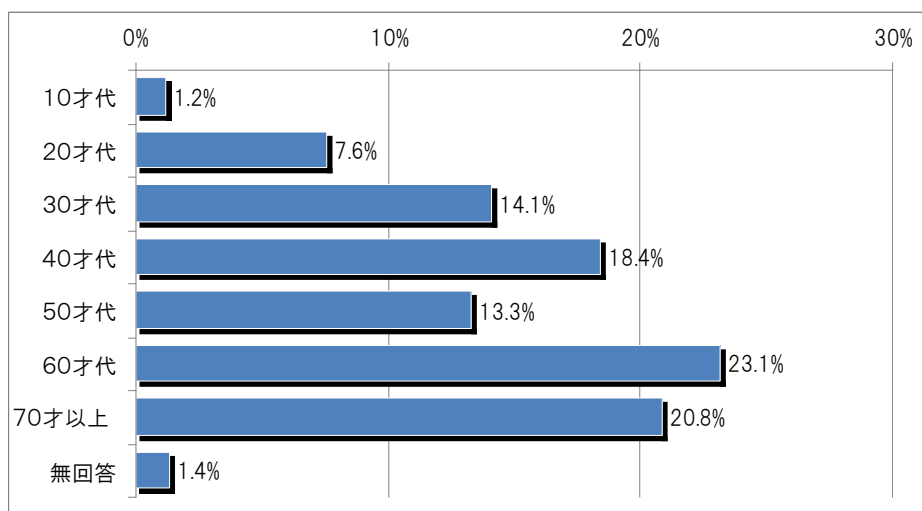


図 2 回答者の年齢

- 居住地区は、「大袋地区」が14.6%で最も多く、次いで「越ヶ谷地区」13.4%、「蒲生地区」11.2%の割合で多くなっています。一方、「川柳地区」は2.0%、「北越谷地区」は3.6%、「荻島地区」は3.8%と少ない回答割合となっています。
- アンケート調査は、住民基本台帳からランダムに抽出しており、居住地区の回答については、概ね、人口の多い順の回答となっています。

選 択 肢	回答数	構成比
桜井地区	129	9.2%
新方地区	63	4.5%
増林地区	80	5.7%
大袋地区	204	14.6%
荻島地区	53	3.8%
出羽地区	104	7.4%
蒲生地区	156	11.2%
川柳地区	28	2.0%
大相模地区	84	6.0%
大沢地区	111	8.0%
北越谷地区	50	3.6%
越ヶ谷地区	187	13.4%
南越谷地区	119	8.5%
無回答	28	2.0%
合計	1396	100.0%

表3 回答者の居住地区

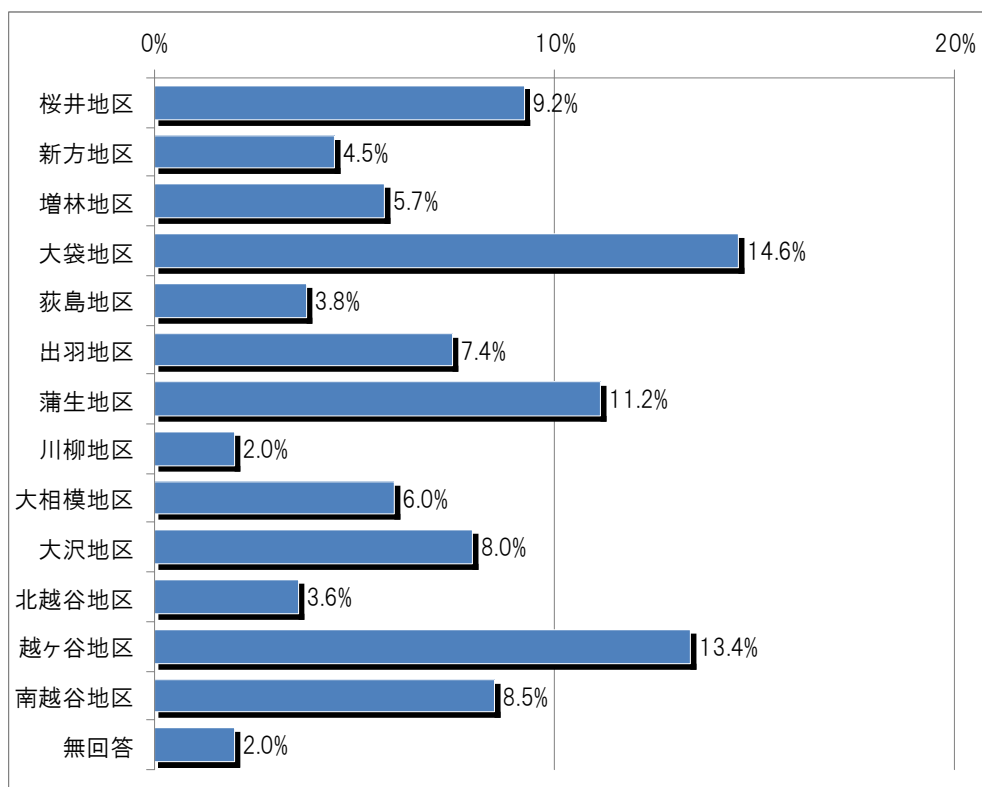


図3 回答者の居住地区

○職業は、「会社員」と「主婦」がそれぞれ 30.8%で最も多く、次いで「無職」が 18.3%、「自営業」6.3%の割合です。

○会社員の方からの回答と、ご家庭等でアンケートを記入し投函いただいた主婦の方からの回答が多くなっています。

選 択 肢	回答数	構成比
会社員	430	30.8%
自営業	88	6.3%
公務員	44	3.2%
学生	39	2.8%
主婦	430	30.8%
無職	256	18.3%
その他	75	5.4%
無回答	34	2.4%
合計	1396	100.0%

表 4 回答者の職業

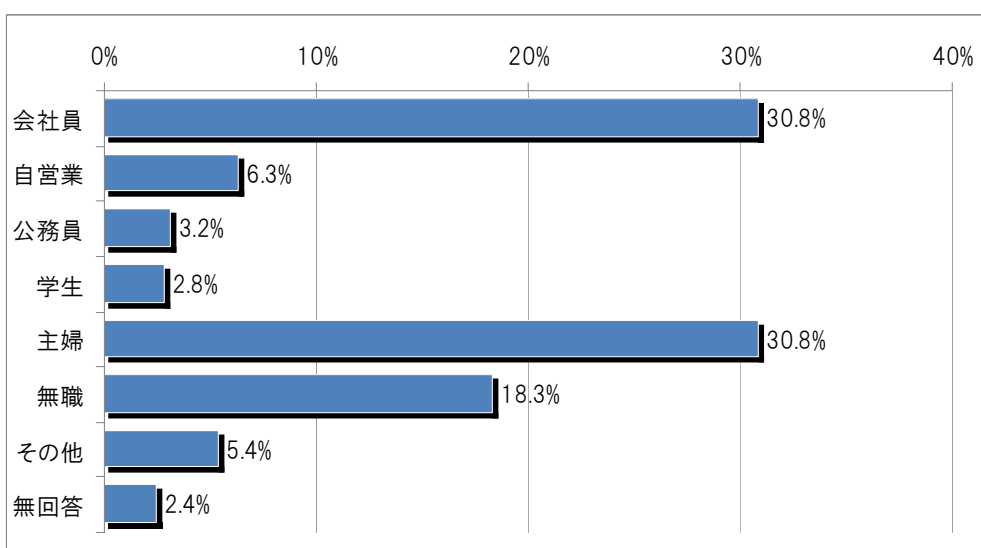


図 4 回答者の職業

○居住年数は、「20年以上」が62.9%を占めており、次いで「11年～20年」が17.8%の割合です。

○60歳代、70歳代の回答者が多かったことから、居住年数が長く、市の概要をご存知の方からの回答が多い結果となっています。

選 択 肢	回答数	構成比
5年未満	126	9.0%
5～10年	115	8.2%
11～20年	248	17.8%
20年以上	878	62.9%
無回答	29	2.1%
合計	1396	100.0%

表5 回答者の居住年数

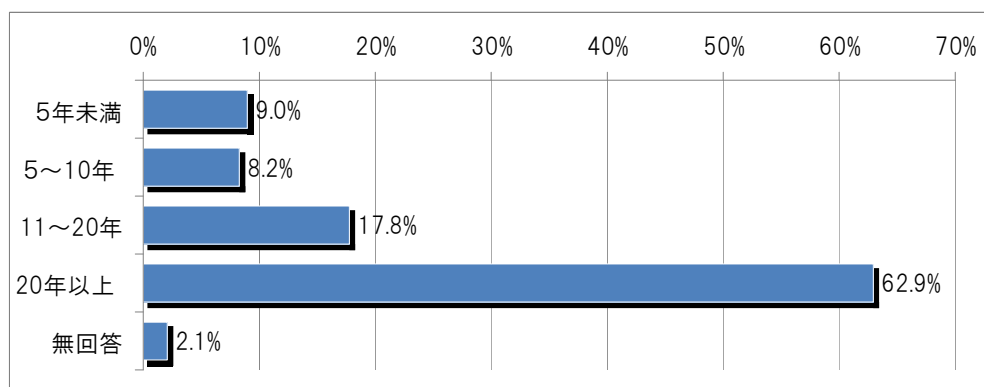


図5 回答者の居住年数

現在の庁舎に関する質問

質問1 あなたはこの1年間、どのくらいの頻度で市役所を訪れましたか。あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。また、2から6までを選んだ方は平均滞在時間もご記入ください。(1つ選択)

【全体集計】

- 全体の約3割(32.3%)が「0回」と回答しています。
- この1年間に市役所を訪れたことがあると回答した人では、「2～3回」が30.6%で最も多く、次いで「1回」が19.1%となっています。
- 平均滞在時間は、「30分以内」が43.3%で最も多く、次いで「30分以上～1時間以内」が17.2%となっています。無回答が36.2%となっているのは、市役所を訪れたことがない(0回)の人の回答が含まれているためと考えられます。

選 択 肢	回答数	構成比
0回	451	32.3%
1回	267	19.1%
2～3回	427	30.6%
4～6回	166	11.9%
7～10回	35	2.5%
10回以上	44	3.2%
無回答	6	0.4%
合計	1396	100.0%

表6 この1年間に市役所を訪れた回数

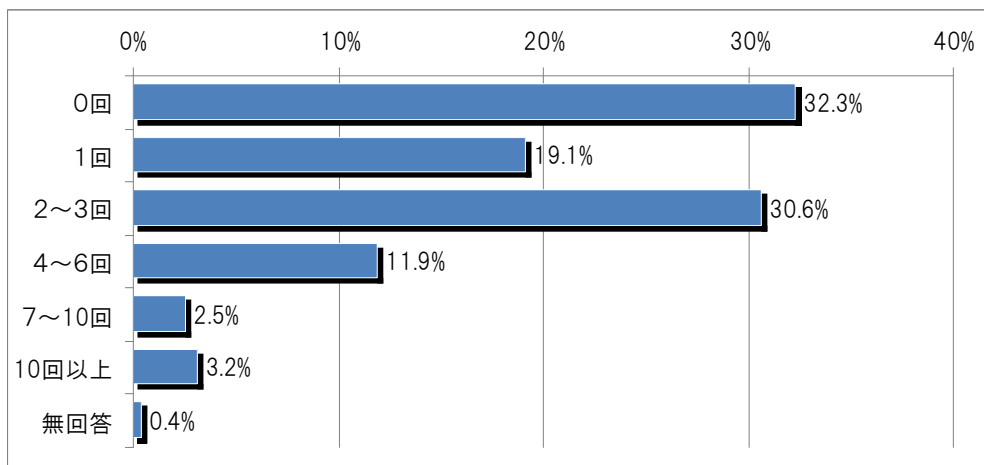


図6 この1年間に市役所を訪れた回数

選 択 肢	回答数	構成比
30分以内	604	43.3%
0.5～1時間	240	17.2%
1～2時間	32	2.3%
2～3時間	5	0.4%
3時間以上	9	0.6%
無回答	506	36.2%
合計	1396	100.0%

表 7 市役所来訪時の平均滞在時間

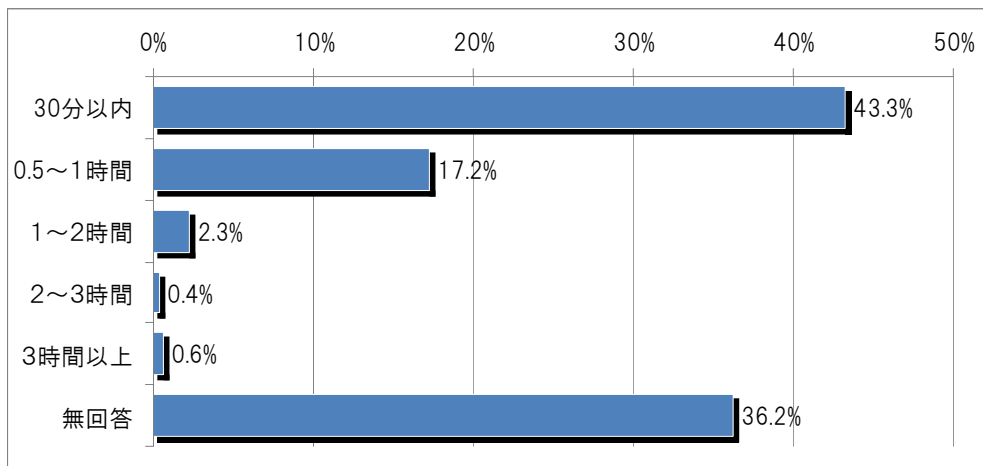


図 7 市役所来訪時の平均滞在時間

質問2 (質問1で2から6までを選んだ方にお伺いします。)あなたは主にどのような目的で市役所を訪れましたか。あてはまるものを選んで、数字を○で囲んでください。また、その内容について右の欄からあてはまるものを○で囲んでください。(複数回答)

【全体集計】

- 来訪目的の回答では、「住民票、印鑑証明、戸籍に関する事」が29.1%で最も多く、次いで「国民健康保険、国民年金に関する事」12.4%、「税金に関する事」8.4%、「福祉に関する事」7.1%の順であり、生活に密着した窓口業務に関する事が来訪目的の大部分を占めています。
- その他の目的：74件

選 択 肢	回答数	構成比
住民票、印鑑証明、戸籍に関する事	615	29.1%
国民健康保険、国民年金に関する事	262	12.4%
税金に関する事	178	8.4%
福祉に関する事	150	7.1%
環境、ゴミに関する事	38	1.8%
建築、道路、下水道、公園に関する事	22	1.0%
防災に関する事	17	0.8%
学校教育、保育、子育てに関する事	147	7.0%
自治会や地域の事に関する事	35	1.7%
議会の傍聴	7	0.3%
仕事上での手続き、調査など	45	2.1%
その他(下の欄にご記入ください)	77	3.6%
無回答	520	24.6%
合計	2113	100.0%

表8 来訪目的

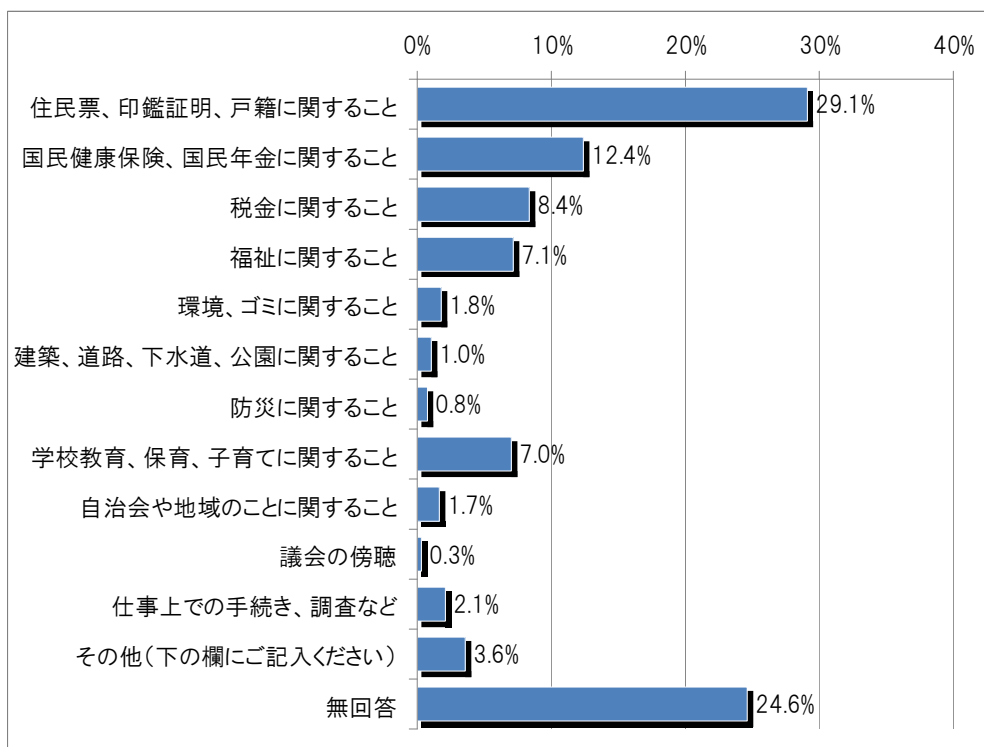


図8 来訪目的

- 来訪目的で最も多い「住民票、印鑑証明、戸籍に関する事」と回答した方は「手続きのため」と回答しており、必要書類の取得を目的とした来訪といえます。
- 次に、「国民健康保険、国民年金に関する事」、「税金に関する事」、「福祉に関する事」と回答した方は「手続きのため」という回答が多いものの、それぞれ2割程度の方は「相談」を目的として来訪しています。
- 一方、「建築、道路、下水道、公園に関する事」、「防災に関する事」、「自治会や地域の事に関する事」を来訪目的としている方は「相談のため」の来訪が多くなっています。

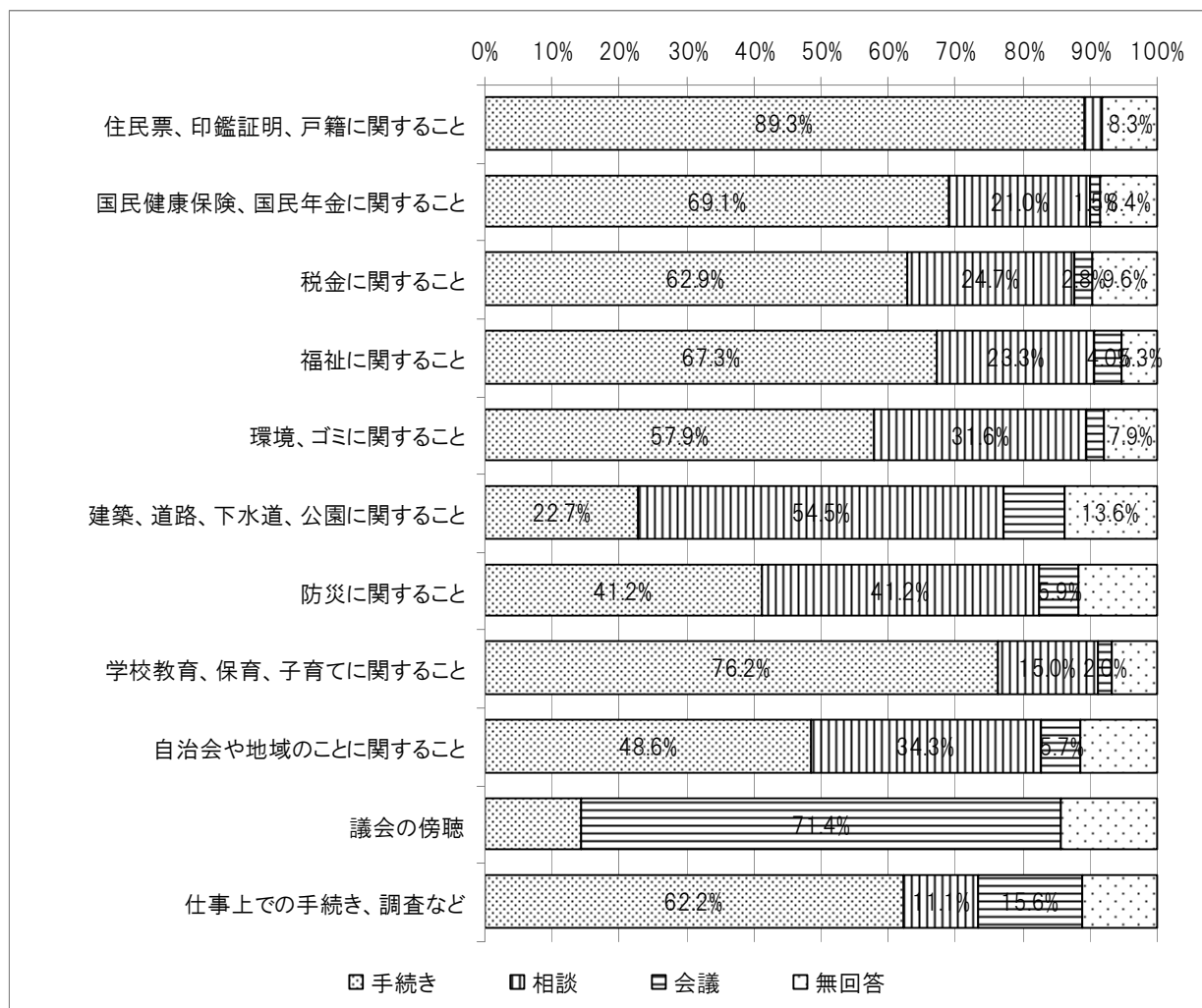


図9 来訪目的とその内容

各目的の内容

選 択 肢	手続き	相談	会議	無回答	合計
住民票、印鑑証明、戸籍に関する事	133	0	0	9	142
	93.7%	0.0%	0.0%	6.3%	25.2%
国民健康保険、国民年金に関する事	45	9	4	5	63
	71.4%	14.3%	6.3%	7.9%	11.2%
税金に関する事	31	5	5	5	46
	67.4%	10.9%	10.9%	10.9%	8.2%
福祉に関する事	31	4	5	2	42
	73.8%	9.5%	11.9%	4.8%	7.4%
環境、ゴミに関する事	5	2	0	1	8
	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	1.4%
建築、道路、下水道、公園に関する事	2	3	0	1	6
	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	1.1%
防災に関する事	2	2	1	0	5
	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.9%
学校教育、保育、子育てに関する事	33	2	3	0	38
	86.8%	5.3%	7.9%	0.0%	6.7%
自治会や地域の事に関する事	4	4	1	0	9
	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	1.6%
議会の傍聴	0	0	2	0	2
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.4%
仕事上での手続き、調査など	5	1	2	0	8
	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	1.4%
その他（下の欄にご記入ください）					17
					3.0%
無回答					178
					31.6%
合計					564
					100.0%

表9 来訪目的とその内容

質問3 あなたは主にどのような手段で市役所を訪れましたか。あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。(1つ選択)

【全体集計】

- 回答者の47.5%が「自動車」を利用しており、「自転車」が26.0%、「電車と徒歩」が11.5%の順となっています。
- 半数近くの方が自動車で、4分の1の方が自転車で来庁しており、駐車場及び駐輪所のニーズが高いものと考えられます。
- その他の手段：3件

選 択 肢	回答数	構成比
徒歩のみ	60	4.3%
自転車	363	26.0%
バイク	24	1.7%
自動車	663	47.5%
電車と徒歩	160	11.5%
バス	14	1.0%
タクシー	6	0.4%
その他	3	0.2%
無回答	103	7.4%
合計	1396	100.0%

表 10 市役所への利用交通手段

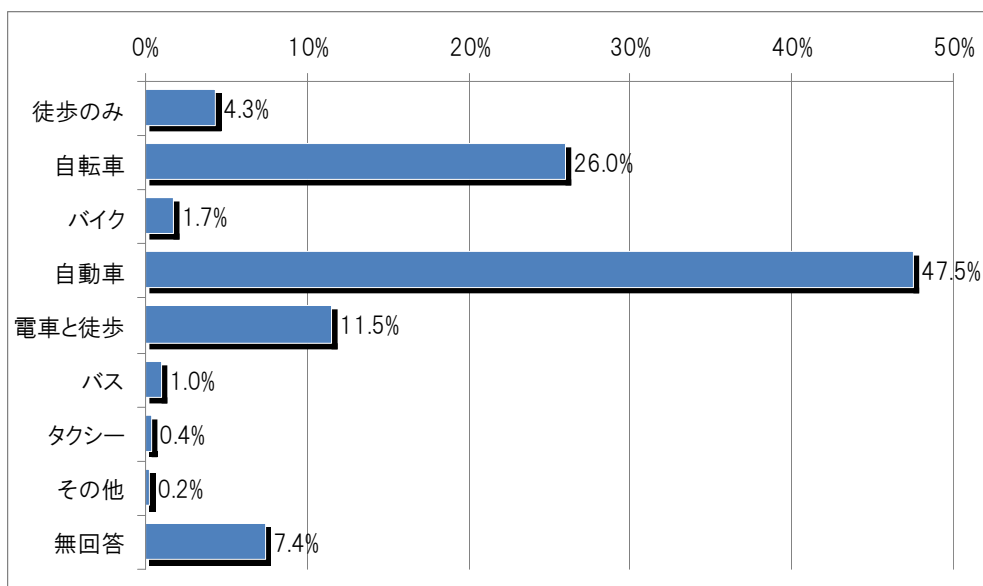


図 10 市役所への利用交通手段

質問4 あなたは、現在の市本庁舎にどのような課題があると思いますか。下のアからエの項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んで、数字を○で囲んでください。

ア. 窓口スペースなどのゆとりが少ないため、個人のプライバシーが十分確保されていない。

○ 「どちらかというと思う」という回答が28.0%で最も多く、「そう思う」という回答と併せると41.0%の方々が、窓口において個人のプライバシーが十分に確保されていないと感じているようです。一方、「そう思わない」と回答した方も25.4%あり、プライバシーの確保については税金や年金、福祉の相談を来訪目的で訪れた方など、その来訪目的により感じ方が変わるものと考えられます。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	181	13.0%
どちらかというと思う	391	28.0%
どちらかというと思わない	218	15.6%
そう思わない	354	25.4%
わからない	166	11.9%
無回答	86	6.2%
合計	1396	100.0%

表 11 窓口におけるプライバシーの確保について

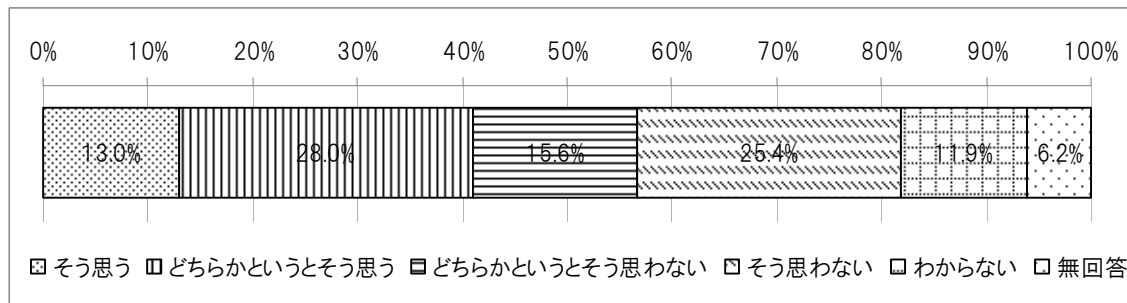


図 11 窓口におけるプライバシーの確保について

イ. 災害対策の拠点として、大地震や火災などに耐えられる建物となっていない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 52.2%の方が、災害対策の拠点施設として大地震や火災に耐えられない建物と認識しているようです。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	357	25.6%
どちらかというと思う	372	26.6%
どちらかというと思わない	114	8.2%
そう思わない	87	6.2%
わからない	383	27.4%
無回答	83	5.9%
合計	1396	100.0%

表 12 災害に耐えられる建物になっていないと思うか

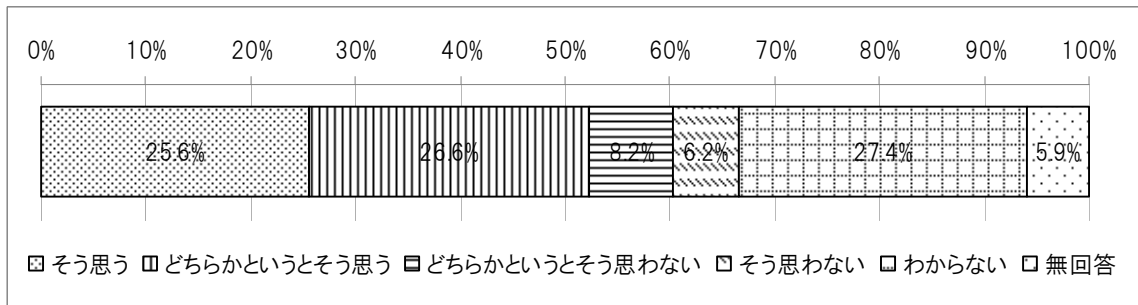


図 12 災害に耐えられる建物になっていないと思うか

ウ. 庁舎の窓口が分散していて、利用しにくい。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 50.3%の方が、庁舎の窓口が分散していて利用しにくいと回答しています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	280	20.1%
どちらかというと思う	421	30.2%
どちらかというと思わない	226	16.2%
そう思わない	239	17.1%
わからない	143	10.2%
無回答	87	6.2%
合計	1396	100.0%

表 13 庁舎の窓口が分散していて利用しにくいと思うか

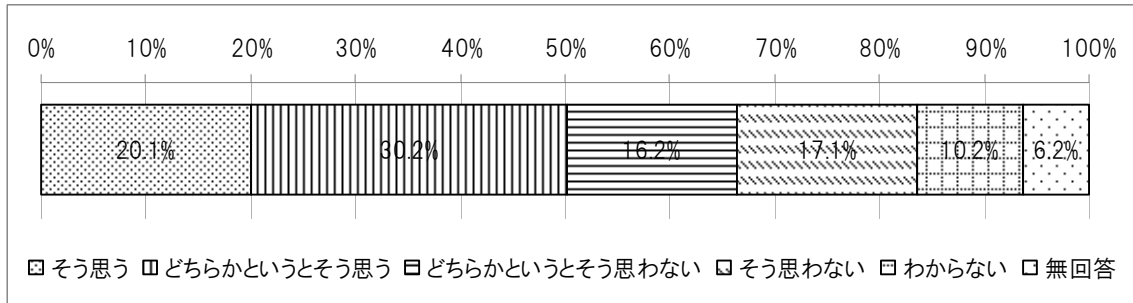


図 13 庁舎の窓口が分散していて利用しにくいと思うか

エ. 高齢者にとって利用しやすい施設となっていない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 49.3%の方が、高齢者にとって利用しやすい施設となっていないと回答しています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	281	20.1%
どちらかというと思う	408	29.2%
どちらかというと思わない	182	13.0%
そう思わない	168	12.0%
わからない	275	19.7%
無回答	82	5.9%
合計	1396	100.0%

表 14 高齢者にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

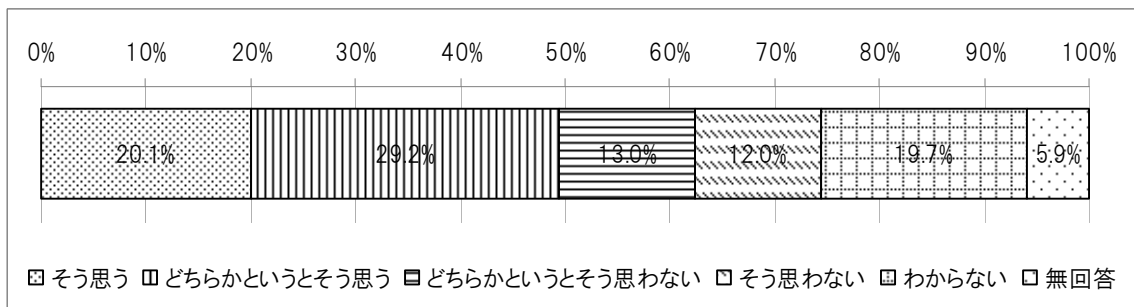


図 14 高齢者にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

オ. 外国人にとって利用しやすい施設となっていない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 45.1%と最も多くなっています。これは外国人の立場にならないと判断ができないという回答に読み替えることができると考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 20.7%、「そう思う」という回答が 10.5%と多くなっています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	147	10.5%
どちらかというと思う	289	20.7%
どちらかというと思わない	112	8.0%
そう思わない	95	6.8%
わからない	630	45.1%
無回答	123	8.8%
合計	1396	100.0%

表 15 外国人にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

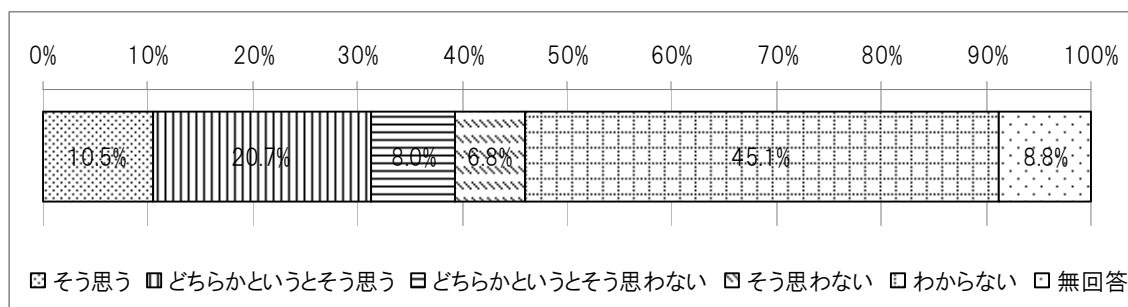


図 15 外国人にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

カ. 駐車場、駐輪場などが十分ではない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 43.8%の方が、駐車場、駐輪場などが「十分ではない」と回答している反面、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」という回答も併せると 42.9%となり、十分ではないと思う方と、そうは思わないという方の回答がほぼ近い割合を示しています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	298	21.3%
どちらかというと思う	314	22.5%
どちらかというと思わない	227	16.3%
そう思わない	372	26.6%
わからない	107	7.7%
無回答	78	5.6%
合計	1396	100.0%

表 16 駐車場、駐輪場などが十分ではないと思うか

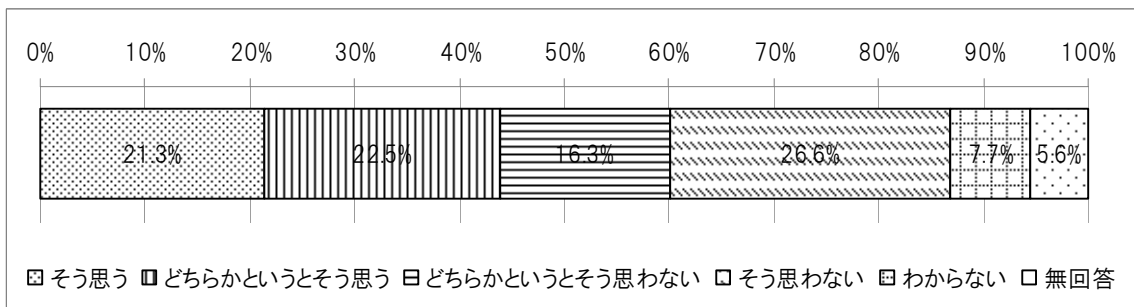


図 16 駐車場、駐輪場などが十分ではないと思うか

キ. 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 36.3%と多くなっています。これは、実際のところ市役所の省エネルギーや省資源などの環境面がどのようになっているのか、市民の方は知らないことによるためと考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 19.8%と多くなっています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	156	11.2%
どちらかというと思う	276	19.8%
どちらかというと思わない	209	15.0%
そう思わない	151	10.8%
わからない	507	36.3%
無回答	97	6.9%
合計	1396	100.0%

表 17 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていないと思うか

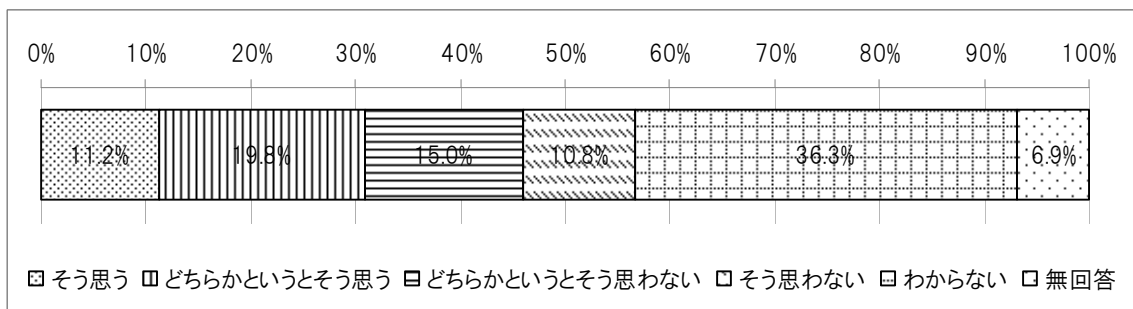


図 17 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていないと思うか

ク. 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 55.9%の方が、市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと回答しています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	352	25.2%
どちらかというと思う	428	30.7%
どちらかというと思わない	178	12.8%
そう思わない	227	16.3%
わからない	128	9.2%
無回答	83	5.9%
合計	1396	100.0%

表 18 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと思うか

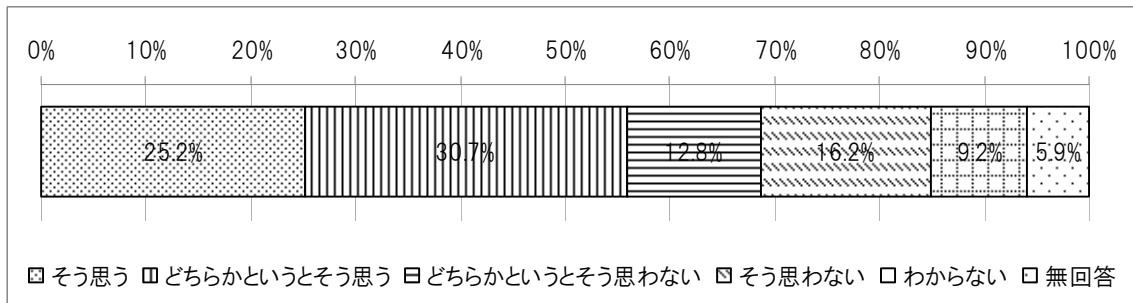


図 18 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと思うか

ケ. 市のシンボルとなるようなデザインではない。

- 「そう思わない」という回答が 24.4%で最も多く、「どちらかというと思わない」という回答と併せると 39.1%の方が市のシンボルとなるようなデザインと認識しているようです。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	239	17.1%
どちらかというと思おう	270	19.3%
どちらかというと思わない	205	14.7%
そう思わない	340	24.4%
わからない	261	18.7%
無回答	81	5.8%
合計	1396	100.0%

表 19 市のシンボルとなるようなデザインではないと思うか

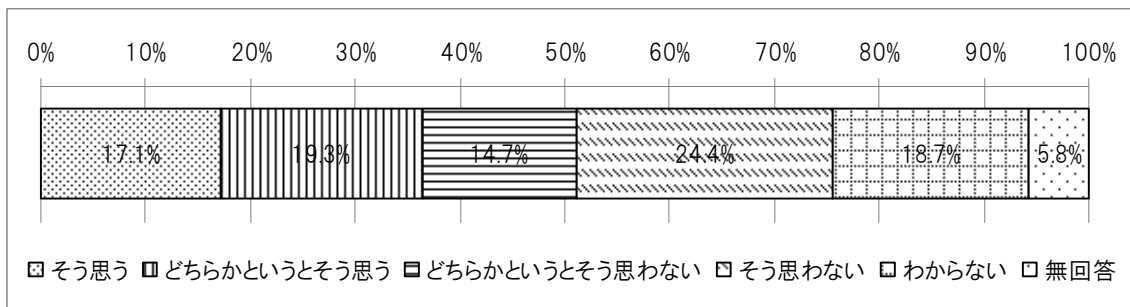


図 19 市のシンボルとなるようなデザインではないと思うか

コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない。

○ 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 51.4%の方が、市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと回答しています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	336	24.1%
どちらかというと思う	381	27.3%
どちらかというと思わない	174	12.5%
そう思わない	214	15.3%
わからない	204	14.6%
無回答	87	6.2%
合計	1396	100.0%

表 20 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと思うか

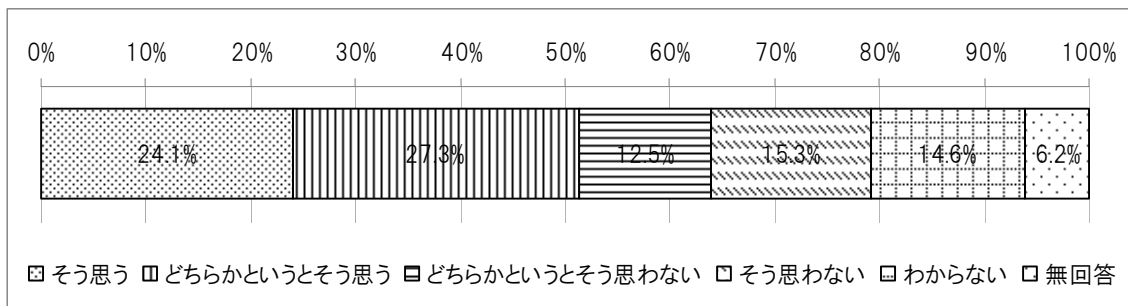


図 20 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと思うか

サ. 建物や広場が周囲の景観と調和していない。

- 「そう思わない」という回答が 39.5%で最も多く、周囲の景観と市役所の建物や広場は調和していると思う方が多くを占めています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	92	6.6%
どちらかというと思う	165	11.8%
どちらかというと思わない	339	24.3%
そう思わない	552	39.5%
わからない	160	11.5%
無回答	88	6.3%
合計	1396	100.0%

表 21 建物や広場が周囲の景観と調和していないと思うか

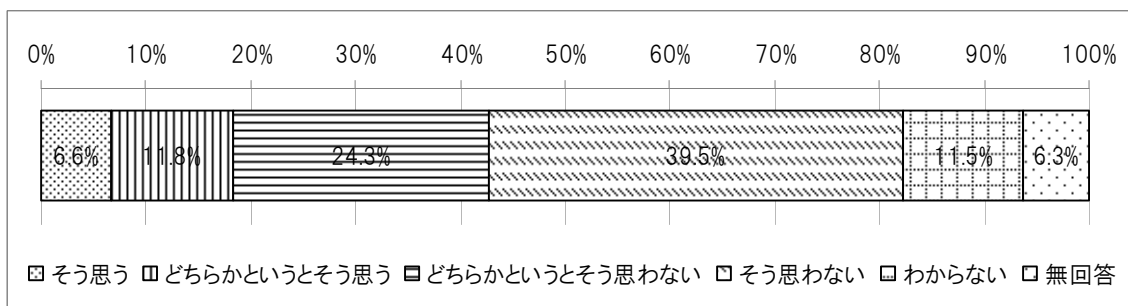


図 21 建物や広場が周囲の景観と調和していないと思うか

シ. 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 39.5%と多くなっています。これは、実際のところ市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化がどうなっているのか、どのような情報通信技術（ICT）化が市民サービスの向上に結びつくものかが良くわからないためと考えられます。
- また、今回の回答者の属性からも比較的に高齢者の方の回答が多く、情報通信技術（ICT）化への対応と聞かれても理解しにくい面があったのではないかと考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 18.1%と多くなっています。

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	126	9.0%
どちらかというと思う	252	18.1%
どちらかというと思わない	204	14.6%
そう思わない	173	12.4%
わからない	551	39.5%
無回答	90	6.4%
合計	1396	100.0%

表 22 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していないと思うか

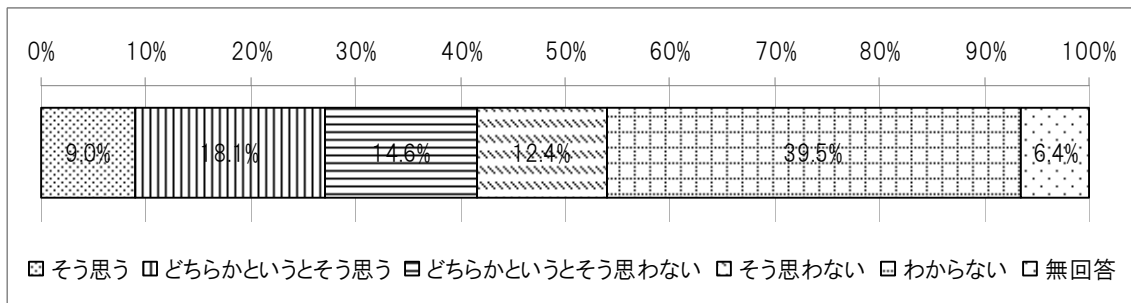


図 22 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していないと思うか

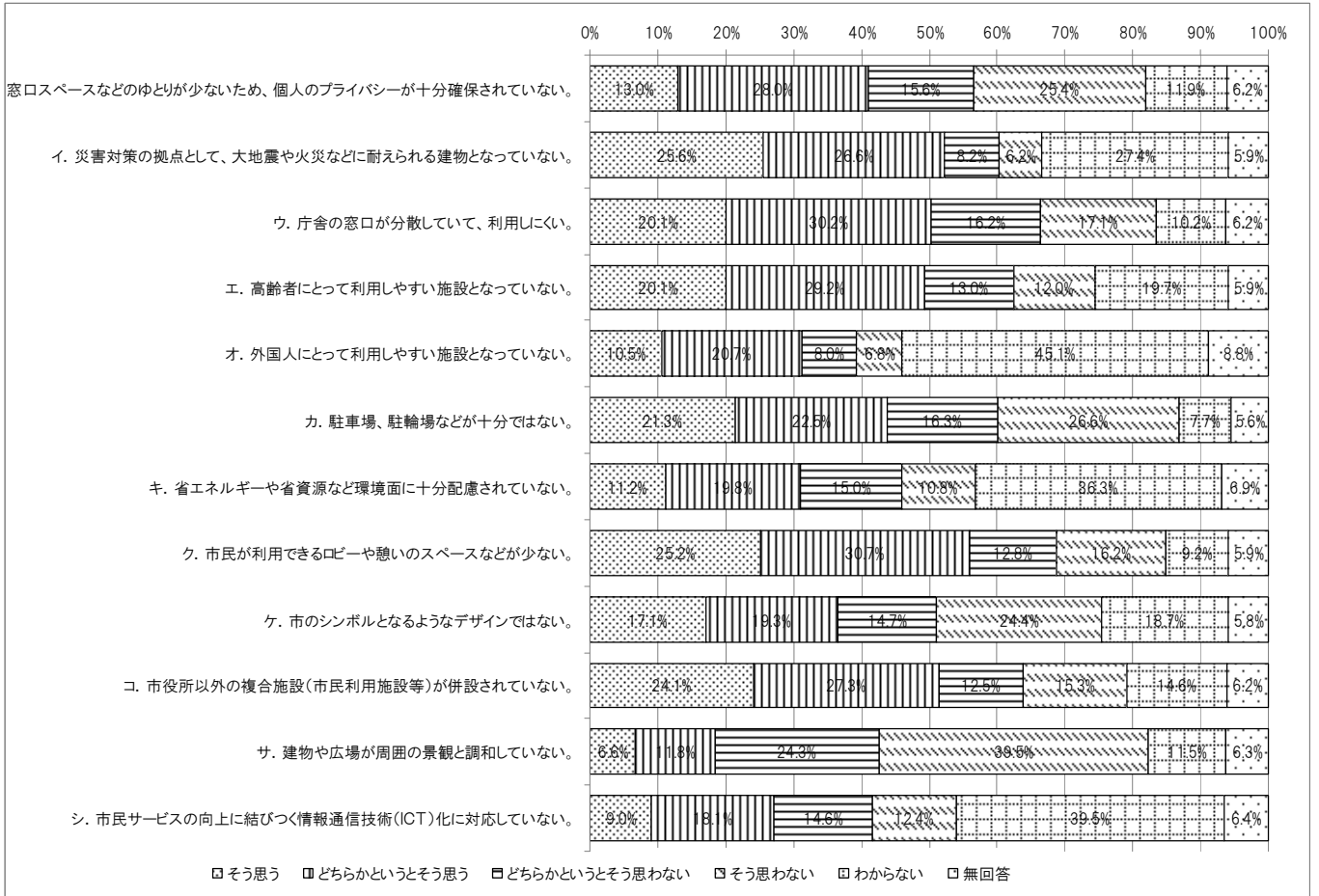


図 11～22 現庁舎の課題 (まとめ)

○ その他の意見：97件

庁舎の機能に関する質問

質問5 あなたはどのような市庁舎が理想だと思いますか。あなたの思い描く市庁舎像に近い考えを次の中から選んで、数字を○で囲んでください。（3つまで選択）

- 理想とする市庁舎像としては、「防災拠点機能を備えた庁舎」が22.4%で最も多く、次いで「機能性・効率性の高い庁舎」（21.5%）、「市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎」（14.7%）、「すべての市民に開かれた庁舎」（13.6%）、の順となっています。
- その他の意見：69件

選 択 肢	回答数	構成比
すべての市民に開かれた庁舎	495	13.6%
機能性・効率性の高い庁舎	782	21.5%
市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎	537	14.7%
防災拠点機能を備えた庁舎	815	22.4%
越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎	436	12.0%
環境にやさしい庁舎	284	7.8%
越谷らしさが感じられる庁舎	189	5.2%
その他	55	1.5%
無回答	51	1.4%
合計	3644	100.0%

表 23 理想とする市庁舎像（複数回答）

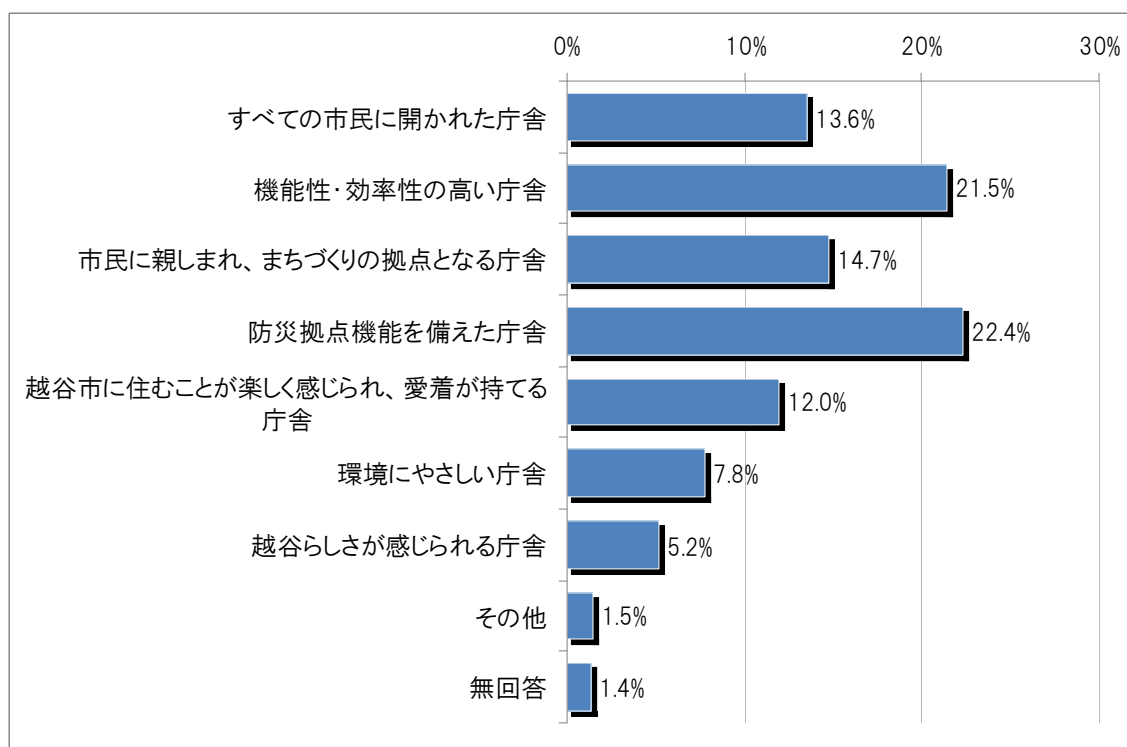
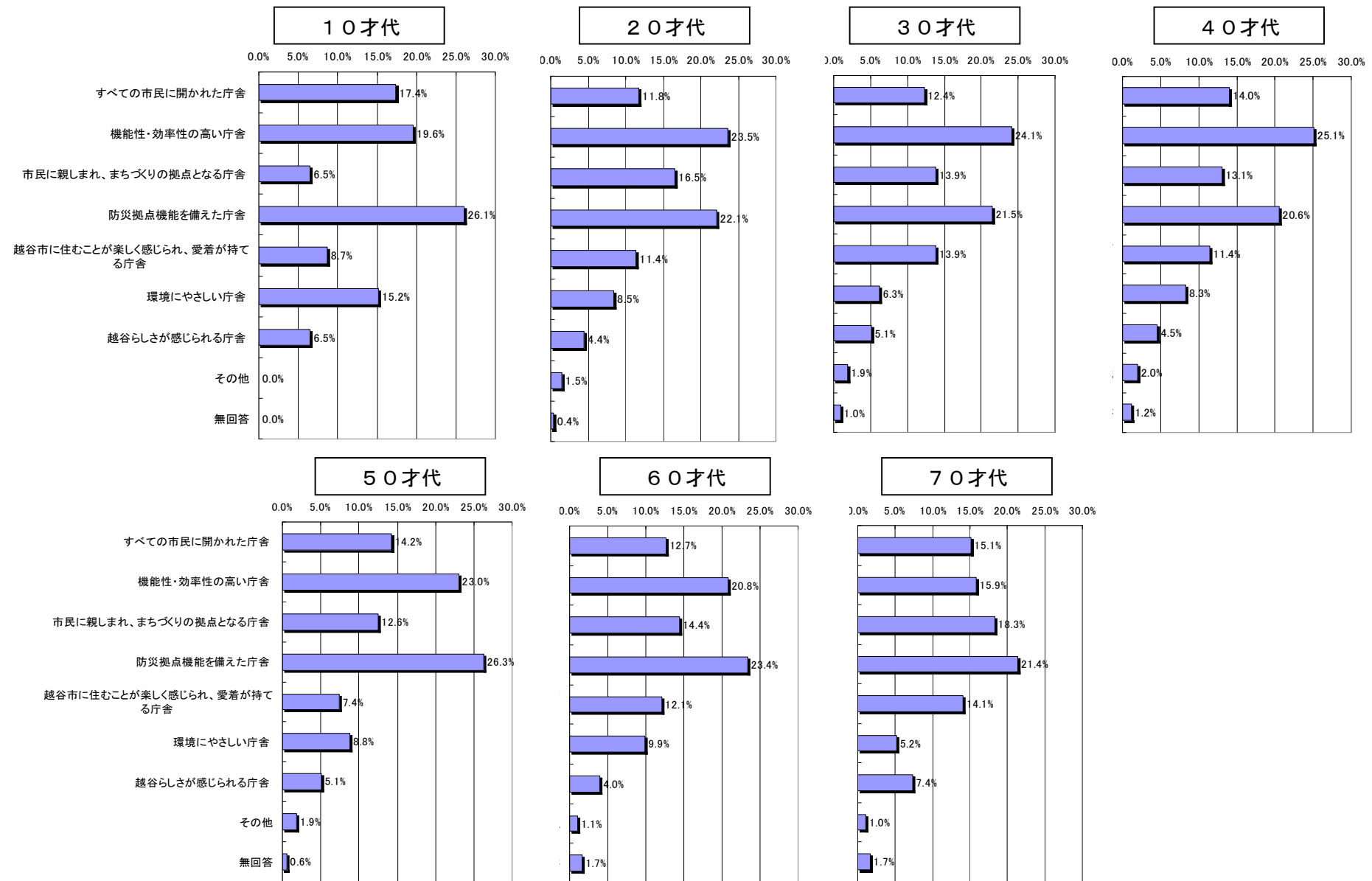


図 23 理想とする市庁舎像（複数回答）

- 質問5に関しては、回答者の年代に偏りがあることから、「年代別」の理想像の違いをクロス分析及び対応分析（コレスポネンデンス分析）による考察も行いました。

- クロス分析や対応分析の結果、以下の傾向が見られます。
 - (1) 全世代を通じて、「防災拠点機能を備えた庁舎（以下「防災」）」、「機能性・効率性の高い庁舎（以下「機能性・効率性）」を志向する傾向が高くなっています。
 - (2) 10才代は、他の世代と比較して「環境にやさしい庁舎」、「すべての市民に開かれた庁舎」を志向する傾向が強く、これらは、最近の環境・社会教育の充実等によるものと考えられます。
 - (3) 20～50才代は、「防災」、「機能性・効率性」への志向が相当高くなっています。次に「市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎」、「すべての市民に開かれた庁舎」を志向しています。これらの世代に顕著な差異はありませんが、年代が上がるにつれて機能性・効率性を重視する傾向が若干現れています。これは、現役世代は、時間に対する価値観が高いことや費用に対する意識も高いことが影響している可能性があります。
 - (4) 60才代は、20～50才代と同様に、「防災」、「機能性・効率性」への志向が相当高くなっています。しかし、次第に郷土への愛着の高まりからか「越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎」を志向する傾向が見られます。
 - (5) 70才以上は、「防災」、「機能性・効率性」への志向が高いですが、他の世代と比較して「越谷らしさが感じられる庁舎」を求める傾向が強くなっています。これは、地域の固有性の大切さの認識や、郷土への愛着の熟成によるものと考えられます。



【質問5】 各世代の各コンセプトに対する選択分布

質問6 市庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重要視することは何ですか。次の中から選んで、数字を○で囲んでください。（3つまで選択）

- 市庁舎がまちづくりに果たす役割で重要視することでは、「災害時の情報収集、情報発信の拠点となること」が28.1%で最も多く、次いで「さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと」（18.9%）、「地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること」（16.9%）の順となっています。
- その他の意見：68件

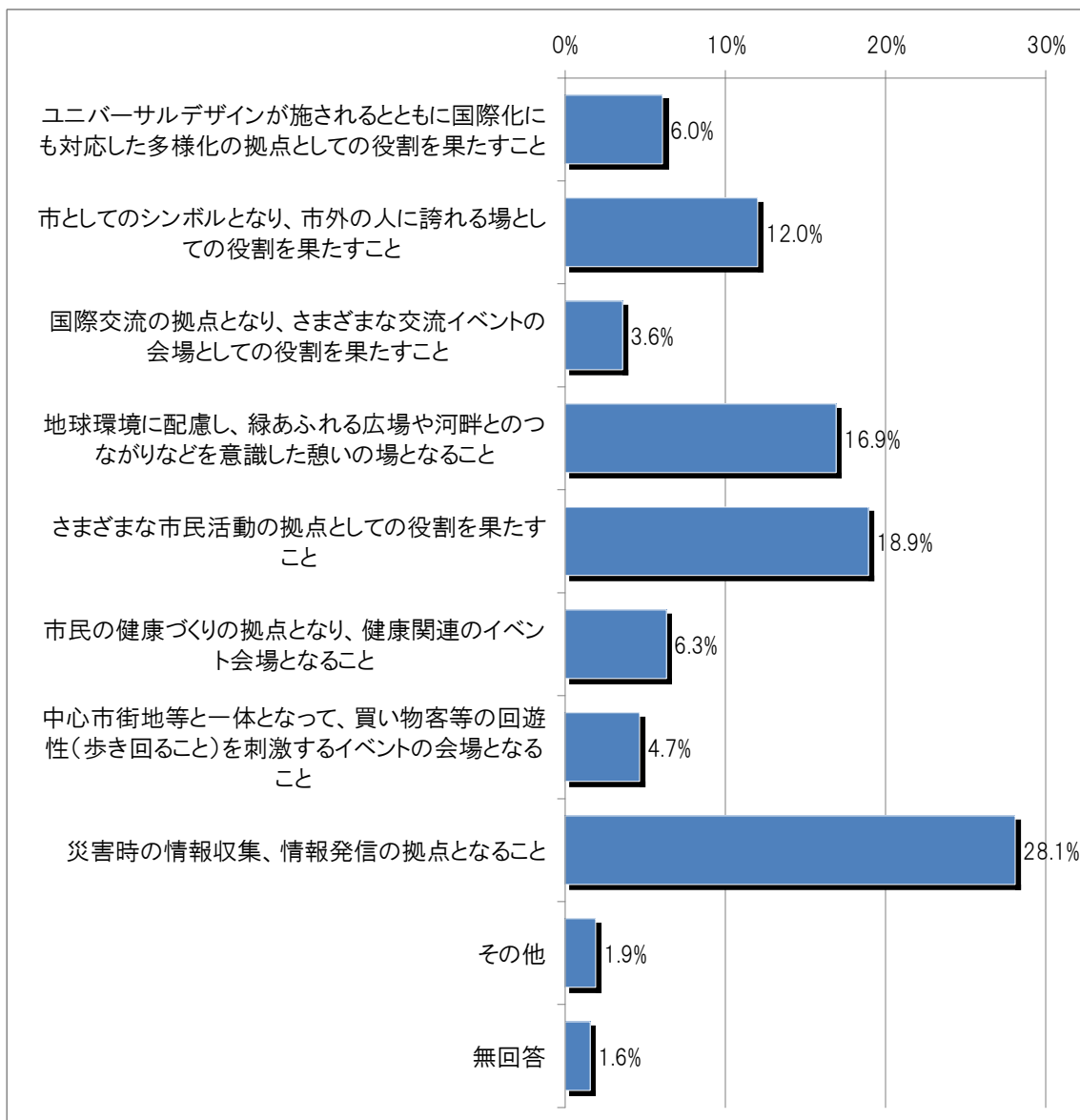


図 24 市庁舎の果たす役割について重要視すること（複数回答）

選 択 肢	回答数	構成比
ユニバーサルデザインが施されるとともに国際化にも対応した多様化の拠点としての役割を果たすこと	210	6.0%
市としてのシンボルとなり、市外の人に誇れる場としての役割を果たすこと	419	12.0%
国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割を果たすこと	126	3.6%
地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること	588	16.9%
さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと	659	18.9%
市民の健康づくりの拠点となり、健康関連のイベント会場となること	221	6.3%
中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性（歩き回ることを刺激するイベントの会場となること	163	4.7%
災害時の情報収集、情報発信の拠点となること	981	28.1%
その他	65	1.9%
無回答	55	1.6%
合計	3487	100.0%

表 24 市庁舎の果たす役割について重要視すること（複数回答）

質問7 今後、庁舎に必要と考えられる新たな機能について、あなたの考え方に近いものを次の中から選んで、数字を○で囲んでください。（3つまで選択）

- 市庁舎に必要と考えられる新たな機能については、「災害発生時等に対応できる機能（避難者受入れや物資の受入れスペース）」が33.7%で最も多く、次いで「来庁者等の利便性向上に寄与する機能（食堂や喫茶コーナー、コンビニエンスストア等）」（22.1%）の順となっています。
- その他の意見：70件

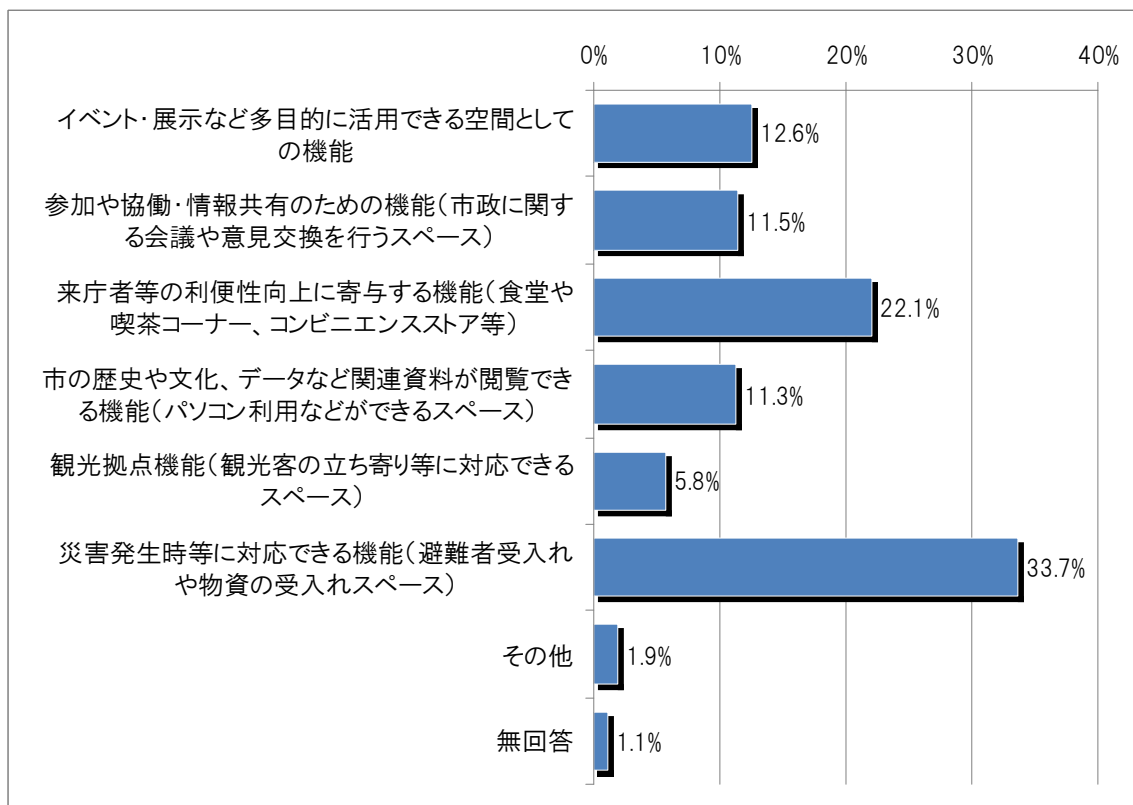


図 25 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

選 択 肢	回答数	構成比
イベント・展示など多目的に活用できる空間としての機能	413	12.6%
参加や協働・情報共有のための機能（市政に関する会議や意見交換を行うスペース）	377	11.5%
来庁者等の利便性向上に寄与する機能（食堂や喫茶コーナー、コンビニエンスストア等）	727	22.1%
市の歴史や文化、データなど関連資料が閲覧できる機能（パソコン利用などができるスペース）	370	11.3%
観光拠点機能（観光客の立ち寄り等に対応できるスペース）	190	5.8%
災害発生時等に対応できる機能（避難者受入れや物資の受入れスペース）	1107	33.7%
その他	64	1.9%
無回答	37	1.1%
合計	3285	100.0%

表 25 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

自由記述

- 自由回答：359件